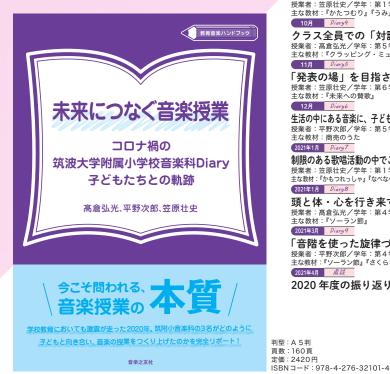


コロナ禍の筑波大学附属小学校音楽科 Diary 子どもたちとの軌跡

著者一高倉弘光、平野次郎、笠原壮史

アフターコロナに生きる音楽の授業

本書は、筑波大学附属小学校音楽科の授業を 2020年~2021年度まで約2年間リポート形式 で綴ったもので、休校時の取り組み、休校明けの 分散登校時の授業や、緊急事態宣言下の制限が強 いられている授業、オンライン授業なども含まれ ています。コロナに限らず、「予測困難」な事態 に遭遇した際、教師はどのように教育活動を続け るべくか、そのヒントを得られる一冊です。



はじめに

2020年度の

全国一斉休校期間中、筑波はどう動いていたのか

6月 Diary 1

体を動かす活動

授業者:高倉弘光 / 学年:第3学年 主な教材:『3時のおやつ』『かもつれっしゃ』『春の小川』

7月 Diary2

実感を伴った知識の習得

授業者:平野次郎/学年:第5学年 主な教材:『茶色の小びん』『こきょうの人々』

8月 Diary3

どんなときでも「歌心」を育み続ける

授業者:笠原壮史/学年:第1学年 主な教材:『かたつむり』『うみ』『ぶんぶんぶん』

クラス全員での「対話」で深める鑑賞

授業者:高倉弘光/学年:第5学年 主な教材:『クラッピング・ミュージック』

「発表の場」を目指さない合唱の授業

授業者:笠原壮史/学年: 主な教材:『未来への賛歌』

生活の中にある音楽に、子どものみえ方・考え方で迫る

授業者:平野次郎/学年 主な教材:商売のうた

2021年1月 Diary

制限のある歌唱活動の中でこそ見いだせた子どもの表現

授業者:笠原壮史/学年:第1学年 主な教材:『かもつれっしゃ』『なべなべ』『ひらいたひらいた』『かたつむり』

2021年1月 Diary8

頭と体・心を行き来する学び

授業者:高倉弘光/学年 主な教材:『ソーラン節』

2021年3月 Diary 9

「音階を使った旋律づくり」の創造性の源

授業者:平野次郎/学年

-ラン節』『さくらさくら』、音階を使った旋律づくり

2020年度の振り返りから見えること

2021年度の

4月

初めての双方向型オンライン授業

授業者:高倉弘光/学年:第5字中 主な教材:『3時のおやつ』『こいのぼり』

子どもの「みえ方・感じ方・考え方」にとことん寄り添う授業

もくじ

授業者:平野次郎/学年: 主な教材:『茶色の小びん』

日常の愛唱歌を学びに生かす

主な教材:『にじ』

7月

「オリジナルの切り口」で挑む、鑑賞の授業づくり

主な教材:『かね』

「持続可能」なハイブリッド授業

授業者:平野次郎/学年:第3学年 主な教材:『うさぎ』

9月 Diary 15

音楽の「ちょうどいい」を見つけよう

授業者:笠原壮史/学年:第2学年 主な教材:『ありがとうの花』『タやけこやけ』

既にある「個別最適な学び」と「協働的な学び」

授業者:高倉弘光/学年:第4学年 主な教材:リズムアンサンブルづくり

11月 Diary 17

「知識→思考・判断→技能」の意義あるつながりとは

授業者:平野次郎/学年:第4学年 主な教材:『もみじ』

2022年1月 Diary 18 「歌のお勉強」を「歌うの大好き!」につなぐために

授業者:笠原壮史/学年:第2学年 主な教材:『春がきた』

2022年2月 Diary 19

あえて「いつも通り」のオンライン授業

授業者:高倉弘光/学年:第2学年 主な教材:『ゆかいな時計』

コロナ禍の中で行事をやる理由

指導者: 平野次郎/学年:第6学年 主な内容: 卒業行事への取り組み

2022年4月 Diary

_____ 子どもたちが「音楽を生涯の友とする」ための授業とは

授業者: 笠原壮史/学年: 第3学年 主な内容: 『踊りましょうよ』

2022年4月 - 州部

これからの音楽科教育を見据えて おわりに

------ キリトリ線------

年 月 日

音楽之友社

★お近くの書店・楽器店にお渡しください。

音楽之友社

取扱店名

〔教育音楽ハンドブック〕

未来につなぐ音楽授業

コロナ禍の筑波大学附属小学校音楽科 Diary 子どもたちとの軌跡

高倉弘光、平野次郎、笠原壮史 著

定価 1980 円 ISBN978-4-276-32101-4

お名前

ご住所

※記入された個人情報に関して、無断で第三者に開示することはありません。